

HiKOKI

取扱説明書

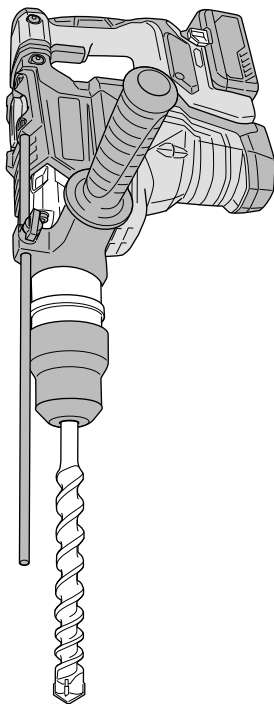
用途

- コンクリートの穴あけ
- アンカ下穴あけ
- コンクリートのハツリ、破碎、溝掘り、角出し、切断、はがし

コードレスハンマドリル

36 V DH 36DMA [SDSmax シャンクタイプ]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	4
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	6
各部の名称…	8
標準付属品…	9
仕様…	10
各種先端工具のご紹介…	11

使い方

基本機能について…	13
工具の取付け・取りはずし…	16
作業モードの設定…	17
回転数・打撃数の調整…	18
保護機能について…	18
RFCについて…	19
スリップクラッチ機構について…	19
作業上のご注意…	20
穴をあける…	21
ハツリ・破碎する…	23
コアビットの使い方…	25
ドリルチャックの使い方…	27

その他

保守・点検…	28
ご修理のときは…	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠ 警告

- ⑦ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、準備・調整・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ 不用意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ 蓄電池を火の中に投入しないでください。
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⚠️注意

- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑫ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の人、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② **使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを取付け、機体を両手で確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ **使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ④ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体や工具類などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ **シリカや石綿（アスベスト）は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
- ⑦ **蓄電池は確実に取付けてください。**
確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
特に高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- ⑧ **工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。**
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑨ **工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、コンクリート粉じんや切りくず、ほこりがたまらないようにしてください。**
 - 使用前に、端子部にコンクリート粉じんや切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いたコンクリート粉じんや切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後にコンクリート粉じんや切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠️ 注意

- ① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
- ④ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ⑤ 作業直後の工具類およびその取付部周辺は高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ⑥ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑦ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。
- ⑧ 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- ⑨ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

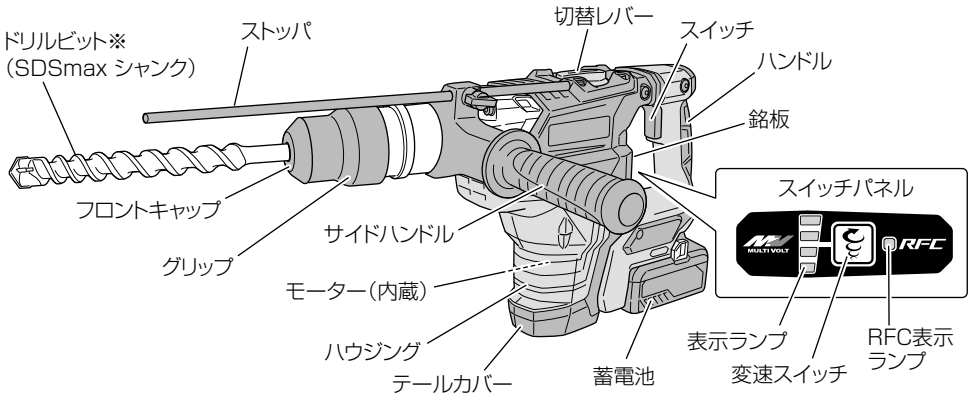


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

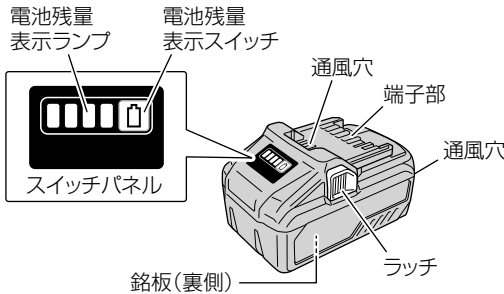
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称


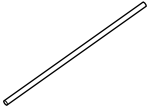
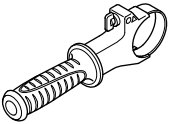
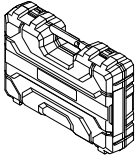

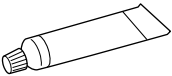
工具本体



蓄電池



標準付属品

品名 (形名)	形名 仕様	DH 36DMA	
		2WP	NNK
蓄電池 (BSL 36B18) 		2 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の 取扱説明書を確認してくだ さい。		1 台	—
ストッパ 		1 本	1 本
サイドハンドル ※本体装着 		1 個	1 個
収納ケース 		1 個	1 個
電池カバー 		2 個	—
ハンマグリース A 		1 個	1 個

仕様

1. 工具本体

形名	DH 36DMA
穴あけ能力	ドリルビット：40 mm、コアビット：105 mm
無負荷回転数 [気温 20℃ 満充電時]	260 ~ 590 min ⁻¹ { 回 / 分 }
全負荷打撃数 [気温 20℃ 満充電時]	1,420 ~ 2,860 min ⁻¹ { 打撃 / 分 }
モーター	直流ブラシレスモーター
適用ビット	SDSmax シャンクタイプ
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池
質量 [BSL 36B18 装着時]	7.9 kg (サイドハンドル装着時) 7.6 kg (サイドハンドルなし)
振動3軸合成値 ^{*1}	回転+打撃：11.8 m/s ² ^{*2} 打撃：9.6 m/s ²

※1：振動3軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値）については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
をご参照ください。

※2：振動3軸合成値は、EN60745-2-6規格に基づき測定しています。

2. 蓄電池

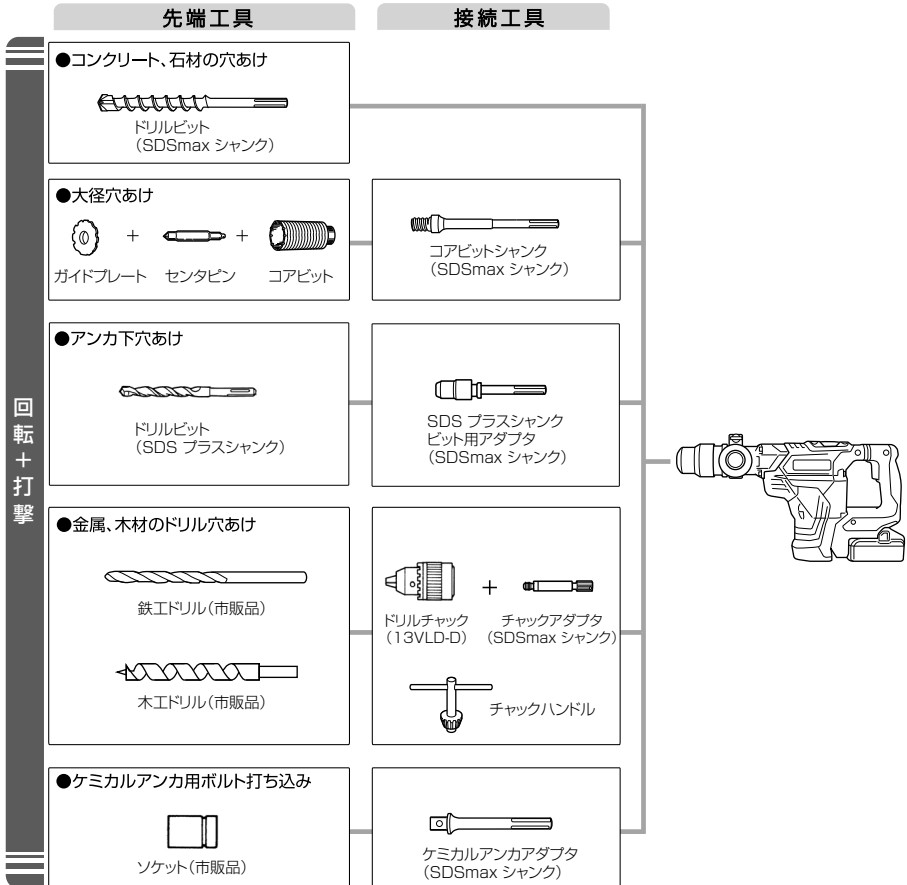
形名	BSL 36B18
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	36 V / 18 V (工具本体により自動切替)
容量	4.0 Ah / 8.0 Ah (工具本体により自動切替)
冷却	対応
使用可能コードレス製品	18 V 品：使用可 36 V 品：マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36xxx、UC 18xxx シリーズ
残量表示ランプ	緑色 LED

各種先端工具のご紹介

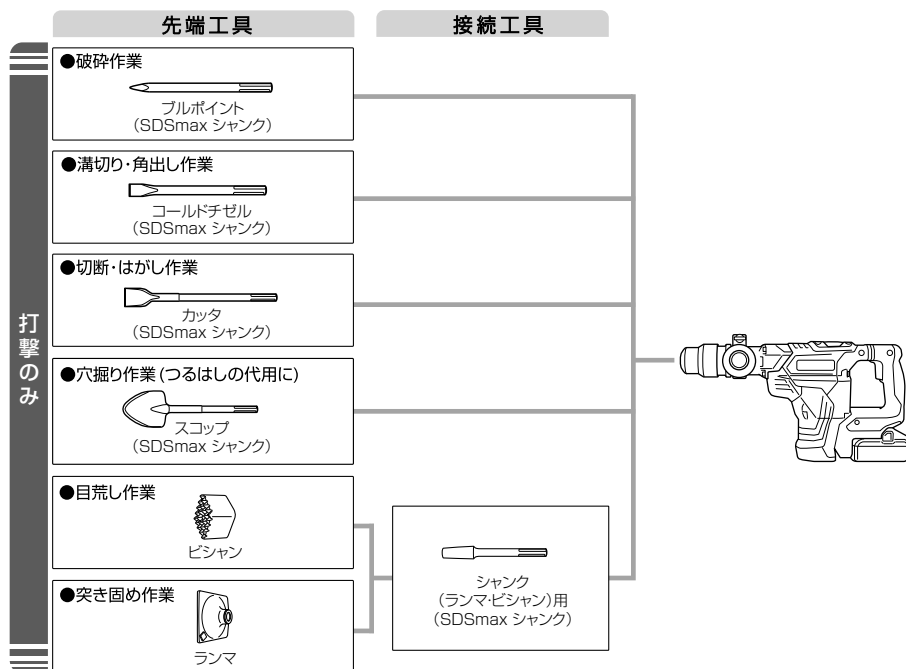
用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

なお、本製品の工具取付部は SDSmax シャンクタイプとなっておりますので、このタイプの先端工具または接続工具を使用してください。

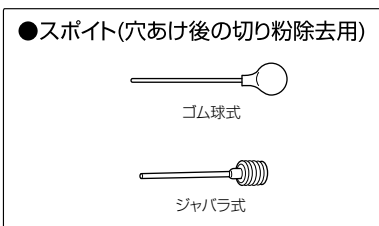
● "回転+打撃" モードで使用



● " 打撃 " モードで使用



● その他



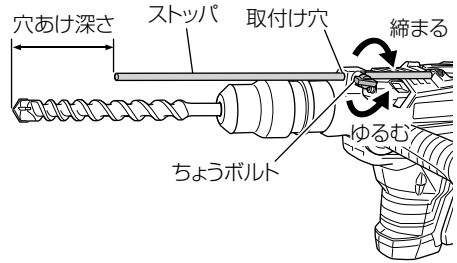
基本機能について

●ストップの使い方

ストップは穴あけ深さの調整に用いる物です。
同じ深さの穴を連続してあける場合、能率が上がり、穴の深さが正確になります。

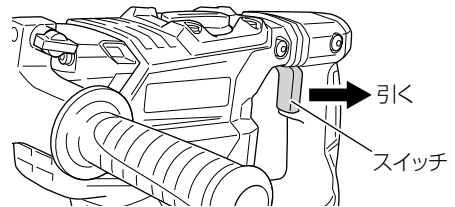
1 ちょうボルトを回してゆるめ、サイドハンドルを取付け穴にストップを通します。

2 所定の穴深さになったときストップが材料に突き当たるよう位置を調整し、ちょうボルトを回してしっかりと固定します。



●スイッチについて

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。



●蓄電池の取りはずし・取付け

⚠警告

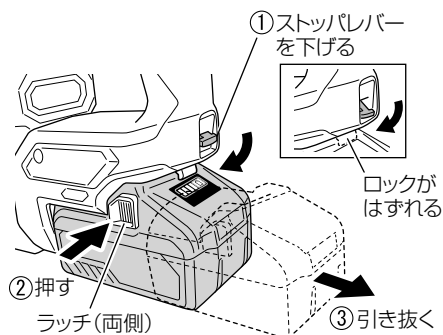
蓄電池は確実に取付けてください。

確実に固定していないと蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

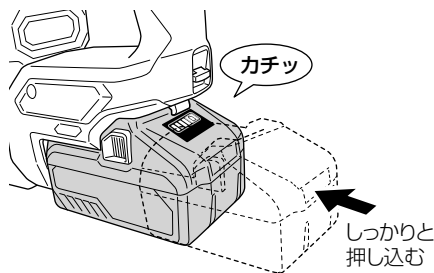
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、ストップレバーを下げ、ロックをはずします。両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

取りはずすとき



取付けるとき



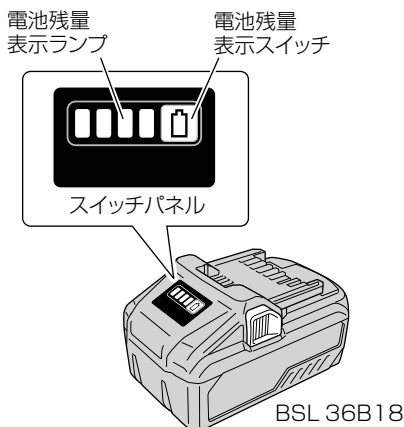
● 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態	電池残量
	75% 以上
	50% ~ 75% 未満
	25% ~ 50% 未満
	25% 未満
	0%
	点滅 高温のため出力停止 ^{※1}
	点滅 故障のため出力停止 ^{※2}

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

工具の取付け・取りはずし

⚠ 警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠ 注意

工具は、弊社指定の別売部品を使用してください。
(P.11「各種先端工具のご紹介」参照)

この機体の工具取付け部は、SDSmax シャンク品専用となっております。
SDSmax シャンクの先端工具または接続工具を使用してください。

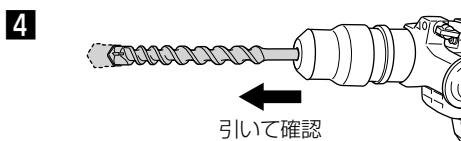
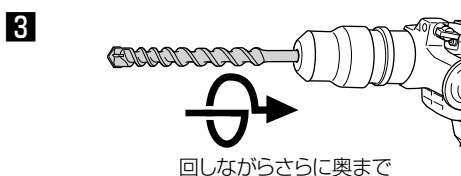
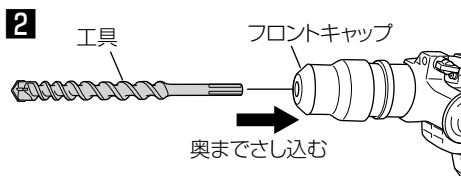
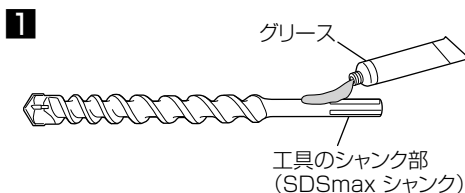
取付け

1 工具のシャンク部をきれいにふき、グリースまたは機械油を塗布します。

2 工具をフロントキャップの穴にさし込み、奥まで突き当てます。

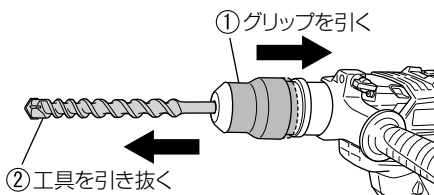
3 工具を軽く押しながら回していくと、工具の溝がかみ合ってさらに奥まで入って突き当たります。

4 確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認します。



取りはずし

工具を取りはずすときは、グリップを矢印方向へ一杯に引き、工具を引き抜きます。



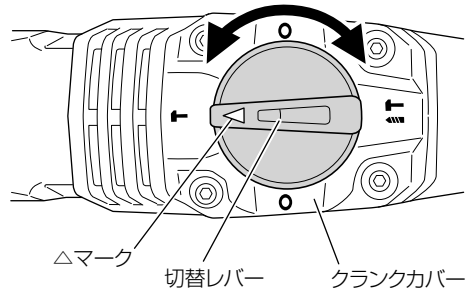
作業モードの設定

⚠注意

- モーター停止時に切替レバーを操作してください。
モーターの回転中に切り替えると、不用意に工具が回り、思わぬ事故の原因になります。
- ハツリ・破碎用工具などは必ず"打撃"モードで使用してください。
"回転+打撃"モードで使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

切替レバーを回して、△マークをクランクカバーの各マーク位置に合わせます。

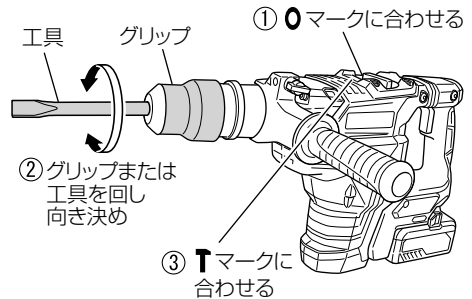
- Ⓜ……………"回転+打撃"モード
- Ⓣ……………"打撃"モード
- ……………工具の位置決め



工具の位置決め

コールドチゼルや、スコップなどの工具先端の向きを決めるときは、

- ① △マークを○に合わせて
- ② グリップまたは工具を回して、工具先端の向きを決めます。
- ③ 切替レバーを再び回して、△マークをⓉに合わせます。
- ④ 工具が回転しないことを確認します。



回転数・打撃数の調整

回転数・打撃数を調整する電子制御回路を内蔵しています。

もろい材料への穴あけ、ハツリ作業また芯出し作業など、作業内容により変速スイッチで回転数を切り替えてください。

変速スイッチを押すと、表示ランプとともに回転数が段階的に切り替わります。



表示ランプ

変速スイッチ

注 ●回転数・打撃数の調整は蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと切り替えできません。

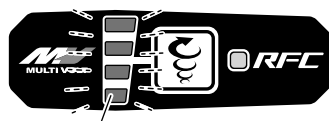
●モーターの回転中に変速スイッチを押しても切り替えはできません。スイッチを切り、モーターの回転が停止してから、操作してください。

表示ランプ点灯状態				
回転数 min^{-1} {回/分}	260	340	410	590
打撃数 min^{-1} {打撃/分}	1,420	1,850	2,240	2,860

保護機能について

本製品は、工具本体および制御部を保護する機能が付いており、作業中に各保護機能が作動すると、モーターが停止します。スイッチを引いている間とスイッチをはなしてから約3秒間、表示ランプが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



表示ランプ

表示ランプ点滅状態	原因	対処方法
	モーターが高温になっているため (温度保護機能)	15～30分ほど機体を休めてください。 温度が下がると復帰します。
	機体に大きな負荷がかかったため (過負荷保護機能)	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
	異常信号を検出したため (センサー異常検出機能)	故障の可能性があります。 お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

RFC(リアクティブフォースコントロール)について

本製品は、工具本体が振られてしまう現象を軽減する RFC(リアクティブフォースコントロール)が搭載されています。

急激に大きな負荷が先端工具にかかると、スリップクラッチ機構が作動する、または工具本体に内蔵されたコントローラがモーターを停止させ、上記現象を軽減します。

スイッチを引いている間、RFC 表示ランプが点滅します。さらに、スイッチを切ってから約 3 秒間点滅します。

点滅している間はモーターが停止します。RFC が作動した原因を取り除いてから、作業を再開してください。

作業時の状況・条件等により作動しない、あるいは性能を十分に発揮できない場合がありますので、急激に大きな負荷が先端工具にかからないよう注意し、作業してください。

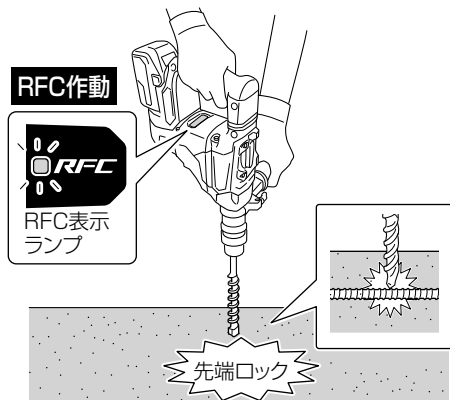
急激な負荷を発生させる原因

- ① 材料による先端工具のかみ込み
- ② 釘・金属などの接触
- ③ 機体をこじる作業・過度な押し付け

など、および、これらの複合的な原因があります。

RFC が作動したら…

RFC が作動してモーターが停止したときは、スイッチを切り、大きな負荷となった原因を取り除いてから作業を再開してください。



スリップクラッチ機構について

この機構は、作業中の機体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターと先端工具の

(注 1)

間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止します。

(注 2)

注 1: コンクリートの穴あけ中に、鉄筋等に当たり急に先端工具が止まろうとする力

注 2: 先端工具が急に止まったとき、反動で機体側が回ろうとして、持っている手がねじられる力

注 スリップクラッチが作動し、先端工具の回転が停止した場合には、速やかにスイッチを切ってください。

作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。

その際は本機を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてから使用してください。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押し付け力について

機体は両手で確実に保持してください。また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。

先端工具にこじる力や押し付ける力が過度にかけると、機体が故障する原因になりますのでご注意ください。

穴をあける

"回転+打撃"モードで
コンクリート、アンカ下穴の穴あけ作業

⚠警告

- 工具やストッパの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- サイドハンドルとハンドルをしっかりと握って作業してください。
工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

⚠注意

- 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- 連続的な作業に使用する際は、シリンダケースおよびその周辺が熱くなるので、手を触れないでください。

注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間くらい空運転し、機体が暖まってから使用してください。
グリースが固くなっていて、モーターが回転しても打撃しない場合があります。

1 工具を取付ける

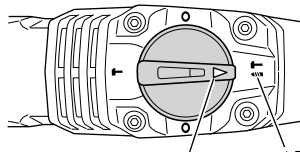
P.16「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2 必要に応じてストッパを取付ける

P.13「ストッパの使い方」を参照してください。

3 作業モードを"回転+打撃"に切り替える

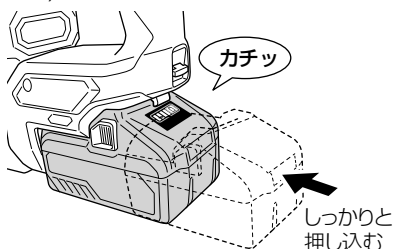
△マークを**Ⓜ**に合わせます。
(P.17「作業モードの設定」参照)



切替レバーの△マーク Ⓜマーク

4 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。
(P.14「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



5

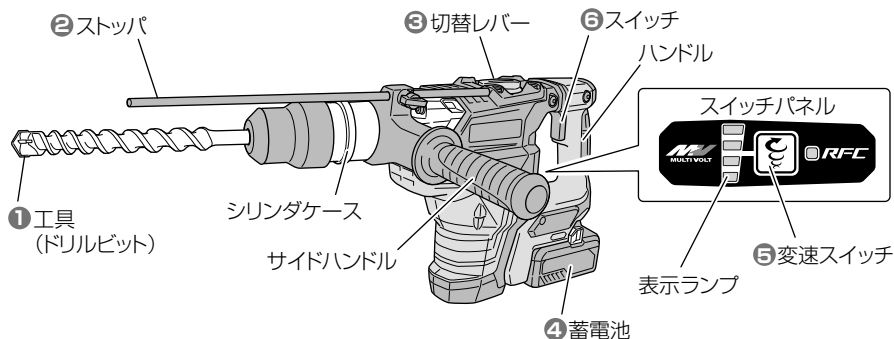
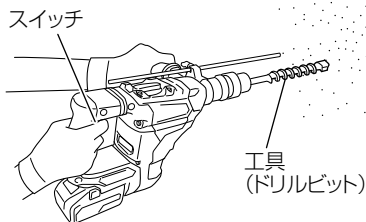
変速スイッチを設定する

一度スイッチを軽く引いた後、変速スイッチを押して、作業に応じた回転数・打撃数を設定します。
(P.18「回転数・打撃数の調整」参照)

6

スイッチを入れる

穴あけ位置に工具の先を当ててからスイッチを入れます。



● 1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。

(穴あけ数は、コンクリートの状態、使用環境、蓄電池特性などにより多少異なります。)

作業内容 (mm)		作業量 (穴の数) [蓄電池：BSL 36B18 使用時]
ビット外径	深さ	
16	60	約 60 個
19		約 50 個
22		約 40 個
25		約 30 個
28		約 20 個
32		約 15 個
38		約 10 個
40		約 10 個

ハツリ・破碎する

"打撃"モードでコンクリートの
ハツリ・破碎・溝掘り・角出し・はがし作業

⚠警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠注意

- ハツリ・破碎用工具などは必ず"打撃"の位置で使用してください。"回転+打撃"の位置で使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。
- 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。無理に突きさしたり、押さえ付けても作業の効率は上がりません。床面のハツリ・破碎の際には、機体の自重を利用し、反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。
- 連続的な作業に使用する際は、シンダケースおよびその周辺が熱くなるので、手を触れないでください。

注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間くらい空運転し、機体が暖まってから使用してください。グリースが固くなっていて、モーターが作動しても打撃しない場合があります。

1 工具を取付ける

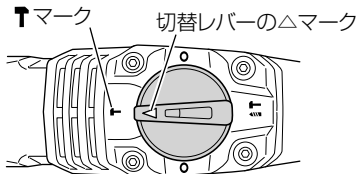
P.16「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2 工具の向きを決める

コールドチゼル、カッタ、スコップを使用するときは、P.17「工具の位置決め」の手順に従い、工具先端の向きを決めます。

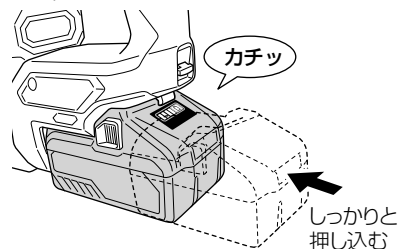
3 作業モードを"打撃"に切り替える

△マークをTに合わせます。
(P.17「作業モードの設定」参照)



4 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。
(P.14「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



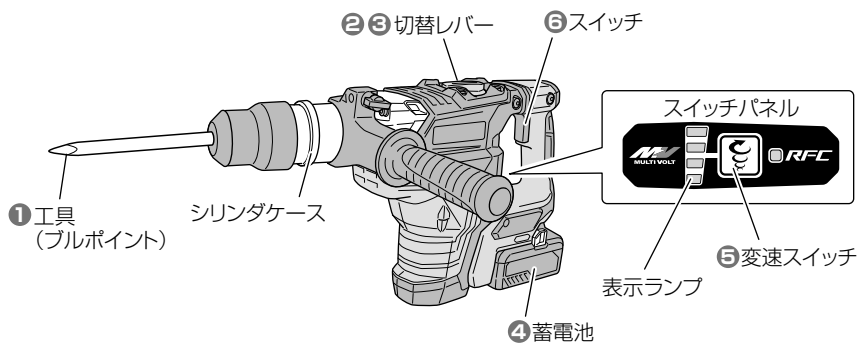
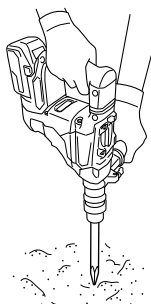
5 変速スイッチを設定する

一度スイッチを軽く引いた後、変速スイッチを押して、作業に応じた回転数・打撃数を設定します。

(P.18「回転数・打撃数の調整」参照)

6 スイッチを入れる

ハツリ・破碎する位置に工具先端を当ててからスイッチを入れます。



コアビット【別売部品】の使い方

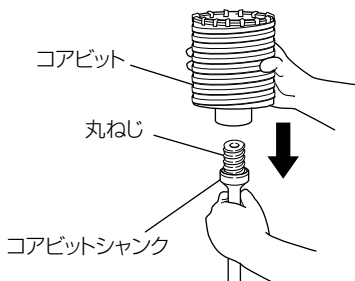
コアビット、センタピン、コアビットシャンクなどのコアビット用別売部品を使用すると、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。

⚠警告

コアビットシャンク、ガイドプレート、センタピンの取付け、取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

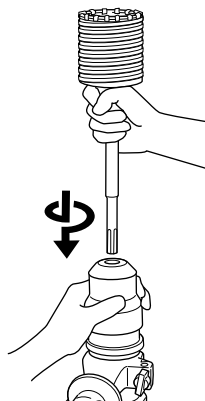
1 コアビットシャンクに コアビットを取付ける

丸ねじ部に油を塗っておくと、分解するときにゆるみやすくなります。



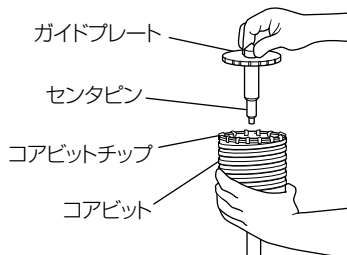
2 コアビットシャンクを 機体に取り付ける

P.16の「工具の取付け・取りはずし」と同じ要領で取付けます。



3 ガイドプレート、センタピンをコアビットにさし込む

- ① ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。
- ② ガイドプレートの凹部をコアビットチップに合わせてはめ込み、左・右どちらかに回します。

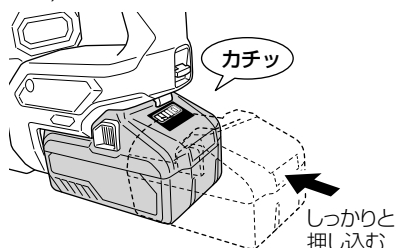


4 作業モードを "回転+打撃"に切り替える

P.17の「作業モードの設定」を参照してください。

5 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。(P.14「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



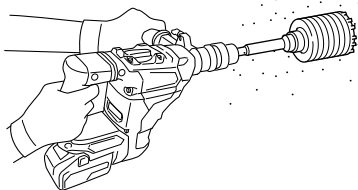
6 変速スイッチを設定する

一度スイッチを軽く引いた後、変速スイッチを押して、作業に応じた回転数・打撃数を設定します。

(P.18「回転数・打撃数の調整」参照)

7 スwitchを入れる

あけたい穴の中心にセンタピンを合わせ、穴あけを開始します。



8 位置決め完成

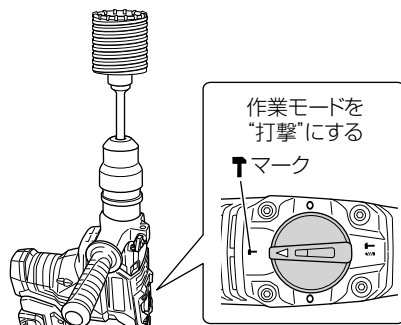
約5mm穿孔すると、位置決め溝が完成します。

コアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずします。

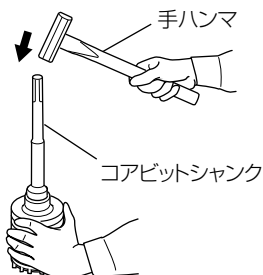
完成した位置決め溝に合わせて、穴あけを再開します。

9 コアビットを取りはずす

- ① コアビットシャックを機体に挿入したまま上向きにして、2～3回無負荷運転で打撃します。



- ② 機体からコアビットシャックをはずしてコアビットを手で持ち、コアビットシャックの頭を手ハンマで2～3回強打すると、丸ねじがゆるみ、取りはずすことができます。



ドリルチャック【別売部品】の使い方

ドリルチャック、チャックアダプタを取付けると、ドリルとして使用できます。
切替レバーを"回転+打撃"の位置にして使用してください。

⚠️ 注意

穴の抜きぎわにドリルを折ることがありますので、穴の抜きぎわに機体を材料に押し付ける力をゆるめてください。

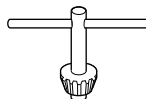
1

ドリルチャックにチャックアダプタを取付ける



3

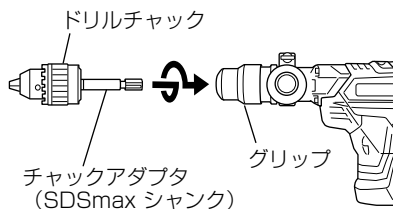
市販のドリルは、チャックハンドルを使ってドリルチャックに取付ける



2

機体にチャックアダプタを取付ける

P.16の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、チャックアダプタを取付けます。



4

以下 P.21「穴をあける」の②からの手順に従い作業する

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。
しかし、機体を長持ちさせるために6か月ごとにグリースの交換をしてください。

注 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を損なう恐れがありますので、グリースの交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

● 工具の点検

摩耗した工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● モーターの取扱いについて

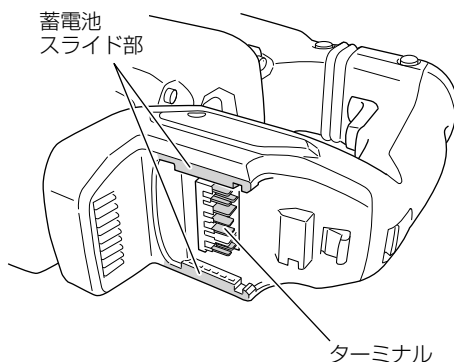
モーター（内蔵）(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
機体内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 蓄電池取付部の清掃について

コンクリート穴あけ後、蓄電池取付部のターミナルや蓄電池スライド部にコンクリート粉じんが付着した際は、乾いた布などで付着したコンクリート粉じんを清掃してから使用してください。
また、清掃後、本体と蓄電池がスムーズに脱着することを確認してください。

注 コンクリート粉じんが付着したまま使用すると、使用中に蓄電池が落下するなど、事故の原因になります。
また、蓄電池とターミナルの接触不良や故障する原因になります。



● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

注

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨がかかる場所、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

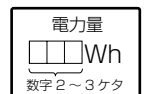
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。
- BSL36B18は工具体体に取付けると100Whを超え、危険物扱いとなります。



BSL36B18

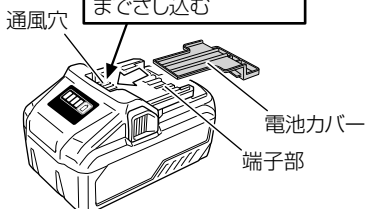
● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

通風穴が見えなくなる
までさし込む



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>